

バイオリソース整備プログラムの進捗状況把握によるプログラム評価 (令和 4 年度)

令和 4 年 8 月 ライフサイエンス委員会

1. ライフサイエンス分野研究開発プランを推進するにあたっての大目標: 「健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応」 (施策目標 9-3)

概要	「生命現象の統合的理解」を目指した研究を推進するとともに、「先端的医療の実現のための研究」等の推進を重視し、国民への成果還元を抜本的に強化する。
----	--

2. プログラム名: 2-6.バイオリソース整備プログラム

概要	バイオリソースの収集・保存・提供等、ライフサイエンス分野の研究基盤の整備等を推進する。
----	---

3. プログラムの実施状況

(1) プログラム全体に関連する指標及びその状況

年度	2018 FY30	2019 FY31	2020 FY2	2021 FY3	2022 FY4	2023 FY5	2024 FY6	2025 FY7	2026 FY8	2027 FY9	2028 FY10	2029 FY11
アウトカム 指標	中核拠点が大学・研究機関等に提供した実験動物・植物等を用いて発表された論文数		945	1021								
添付資料名	別添 1 令和3年度予算概要 (ナショナルバイオリソースプロジェクト)											
備考	特に無し											

(2) 個別の研究開発課題に関連する指標及びその状況

① 研究開発課題名: ナショナルバイオリソースプロジェクト (第 5 期) (重点的に推進すべき取組: バイオリソースの収集・保存・提供等、ライフサイエンス分野の研究基盤の整備等を推進する。)

目的・概要	国が戦略的に整備することが重要なバイオリソースについて、体系的な収集・保存・提供等の体制を整備し、質の高いバイオリソースを大学・研究機関等に提供することにより、我が国のライフサイエンス研究の発展に貢献する。												
課題実施 機関・体制													
年度		2018 FY30	2019 FY31	2020 FY2	2021 FY3	2022 FY4	2023 FY5	2024 FY6	2025 FY7	2026 FY8	2027 FY9	2028 FY10	2029 FY11
(※網掛けは課題実施期間)													
研究開発課題評価 (事前、中間、事後) 実施年度			中間		事前・事後			中間		事前・事後			
予算額及び翌年度要求額 (億円)		13	13	13	12	12	14						
既存の指標を 参照する場合	指標の種別 (測定/成果/活動)	指標	添付資料の 該当頁 (頁)		添付資料の該当頁の該当箇所								
	活動指標	中核拠点や情報センターの整備件数	別添 2 の 5 頁		活動指標 1 つ目								
既存の指標を 参照する場合	指標の種別 (測定/成果/活動)	指標	添付資料の 該当頁 (頁)		添付資料の該当頁の該当箇所								
	成果指標	中核拠点が大学・研究機関等に提供した実験動物・植物等を用いて発表された論文数	別添 2 の 5 頁		成果指標 1 つ目								
添付資料名	別添 1 令和3年度予算概要 (ナショナルバイオリソースプロジェクト)												
基本計画等 への貢献状況	科学技術・イノベーション基本計画においては、生物遺伝資源等の戦略的・体系的な整備を推進しており、第 5 期事業を実施することでデータ駆動型研究を含む広くライフサイエンス研究の発展に貢献することが期待される。(令和 3 年 8 月事前評価より)												
備考	特に無し												

4. プログラムの現状についてのコメント (任意)

--

5. 参考

政策・施策番号	9-3
施策目標	健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応
達成目標番号	7
達成目標	バイオリソースの収集・保存・提供等、ライフサイエンス分野の研究基盤の整備等を推進する。

行政事業レビュー事業番号	0271
行政事業レビュー事業名	医療分野の研究開発の推進
行政事業レビュー事業目標	医療・ライフサイエンス分野の研究開発及びその環境の整備、研究機関における医療分野の研究開発及びその環境の整備に対する助成等を行うことで、革新的な医薬品・医療機器等の実用化を促進し、健康長寿社会の形成を目指す。

6. 添付資料名一覧

- ・別添 1 令和3年度予算概要 (ナショナルバイオリソースプロジェクト)
- ・別添 2 令和 4 年度行政事業レビューシート (事業番号: 0271)

## 概要

国が戦略的に整備することが重要なバイオリソース(※)について、体系的な収集・保存・提供等の体制を整備し、質の高いバイオリソースを大学・研究機関等に提供することにより、我が国のライフサイエンス研究の発展に貢献。

※研究開発の材料としての動物・植物・微生物の系統・集団・組織・細胞・遺伝子材料及びそれらの情報

(参考)「医療分野研究開発推進計画」(平成26年7月22日 健康・医療戦略推進本部決定)

・ライフサイエンス研究の発展に向け、重要かつ質の高いバイオリソースを、中核的拠点に戦略的に収集・保存し、研究機関に提供する。

「科学技術基本計画」(平成28年1月22日 閣議決定)・「科学技術イノベーション総合戦略2016」(平成28年5月24日 閣議決定)

・生物遺伝資源等の知的基盤について、公的研究機関を実施機関として、戦略的・体系的に整備する。

## 【令和3年度予算のポイント】

○バイオリソースの質の向上と利活用促進に向け、より戦略的な収集・保存・提供を実施。

＜バイオリソースの分類＞

- ①世界的規模で活用されるモデル生物等の「基幹的なバイオリソース」
  - ②学問的な重要性や我が国の独自性を発揮した研究等のために「維持が必要なバイオリソース」
- (第5期に向けて分類の再検討中)

◆日本全国に散在するバイオリソースを中核的拠点へ集約し、効率的かつ適正な品質管理を実施。リソースを利用する際に、効率的なアクセスを可能とする。

◆令和2年度第3次補正予算で追加採択した「ウイルスリソース」の収集・保存・提供体制を整備し、感染症研究・医薬品開発等を含むライフサイエンス研究の加速・促進に寄与。

ゲノム情報等整備プログラム 0億円(0.4億円)  
(ゲノム解析等による付加価値向上)

基盤技術整備プログラム 0.1億円(0.5億円)  
(品質確保等のための技術開発)

中核的拠点整備プログラム 9.8億円(9.8億円)  
(収集・保存・提供体制の整備)

情報センター整備プログラム 2.0億円(2.1億円)  
(所在情報・遺伝情報等の提供)

リソース・  
情報の提供

寄託・研究結果の  
フィードバック等

大学・研究機関

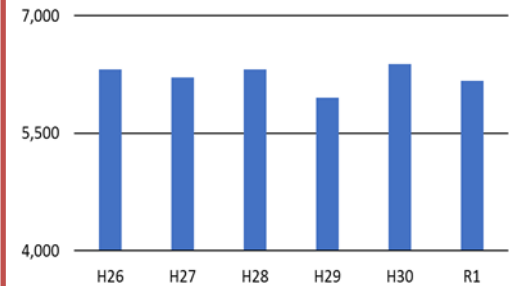
ライフサイエンス研究

がん	創薬
免疫	感染症
難病	発生・再生
脳	食料

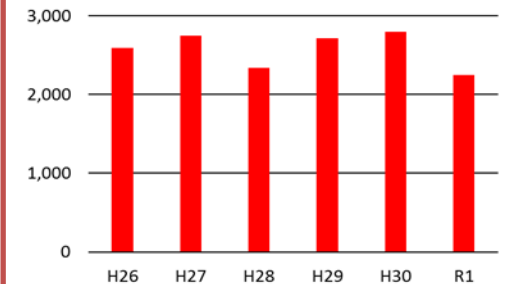
・健康長寿社会の実現  
・世界に先駆けて超高齢化  
社会を乗り越えるモデルを  
世界に発信

## 成果事例

本事業のリソース利用者数



本事業のリソース提供先から産出された  
研究成果(論文数)



※2020年8月現在の数値。

## 事業番号 2022 - 文科 - 21 - 0271

## 令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

事業名	医療分野の研究開発の推進			担当部局庁	研究振興局	作成責任者	
事業開始年度	平成27年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 奥 篤史	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	健康・医療戦略推進法 国立研究開発法人日本医療研究開発機構法			関係する 計画、通知等	健康・医療戦略(第1期:平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日閣議決定)、医療分野研究開発推進計画(第1期:平成26年7月健康・医療戦略推進本部決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)、「統合イノベーション戦略2020」(令和2年7月17日閣議決定)、「バイオ戦略(基本的施策)」(令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定)		
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション、高齢社会対策			主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療・ライフサイエンス分野の研究開発及びその環境の整備、研究機関における医療分野の研究開発及びその環境の整備に対する助成等を行うことで、革新的な医薬品・医療機器等の実用化を促進し、健康長寿社会の形成を目指す。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	第2期健康・医療戦略(令和2年3月27日閣議決定)、第2期医療分野研究開発推進計画(令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)に基づき、以下①-⑥の「統合プロジェクト」及びナショナルバイオリソースプロジェクトにおける医療・ライフサイエンス分野の研究開発を、基礎から実用化まで一貫して推進するために必要な経費を措置する。(補助率定額) ①医薬品プロジェクト、②医薬品・ヘルスケアプロジェクト、③再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト、④ゲノム・データ基盤プロジェクト、⑤疾患基礎研究プロジェクト、⑥シーズ開発・研究基盤プロジェクト						
実施方法	補助						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	53,063	53,297	54,809	53,116	63,646
		補正予算	-	11,319	51,500	0	
		前年度から繰越し	1,487	748	10,232	454	
		翌年度へ繰越し	▲ 748	▲ 10,232	▲ 454		
		予備費等	2,813	6,728	7,068		
		計	56,615	61,860	123,155	53,570	63,646
	執行額		56,615	61,861	123,151		
執行率 (%)		100%	100%	100%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		107%	96%	116%			
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由		
	医療研究開発推進事業費補助金		51,638	62,023	※金額は小数点第一位を四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。		
	研究開発施設共用等促進費補助金		1,192	1,339			
	革新的研究開発推進基金補助金		247	247			
	科学技術試験研究委託費		35	35			
	委員等旅費		2	1			
	その他		2	1			
	計		53,116	63,646			

活動内容 (アクティビティ)	優れた基礎研究の成果を医薬品等としての実用化につなげるため、創薬等のライフサイエンス研究に資する高度な技術や施設等を共用する先端研究基盤を整備・強化して、大学・研究機関等による創薬標的探索研究や作用機序解明に向けた機能解析研究等を支援する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	前年度実績と過去3年の伸び率平均からの算出した予測値以上の化合物を提供	創薬支援の取組における化合物提供件数(累積)	活動実績	件	677	791	917	-	-
			当初見込み	件	880	874	883	-	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	医療・ライフサイエンス分野の研究開発及びその環境の整備等、内容が多岐にわたるため、単位当たりコストを算出することは困難		単位当たりコスト	-	-	-	-	-	
			計算式	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 3年度
	前年度以上の新たな創薬シーズ件数 ※ライフサイエンスに係る研究を支援する拠点整備等を通じたイノベーションの貢献を測るための目安として設定した	創薬支援により新たに創薬シーズが見つかった件数(年度)	成果実績	件	95	81	80	-	80
			目標値	件	114	95	81	-	81
			達成度	%	83.3	85.3	98.8	-	98.8
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	医療分野研究開発推進計画								
活動内容 (アクティビティ)	再生・細胞医療の実用化に向け、細胞培養・分化誘導等に関する基礎研究、疾患・組織別の非臨床研究、疾患特異的 iPS細胞を活用した難病の病態解明・創薬研究及び必要な基盤構築等を行う。また、遺伝子治療について、遺伝子導入技術や遺伝子編集技術に関する研究開発を行う。さらに、これらの分野融合的な研究開発を推進する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクトにおいて企業へ導出される段階を目指す研究課題を支援	再生医療実現拠点ネットワークプログラムにおいてiPS細胞等幹細胞を用いて臨床応用を目指す研究課題(件)(累積)(~令和元年度)  企業へ導出される段階を目指す研究課題数(件)(令和2年度からの累積)(令和2年度~)	活動実績	件	17	132	173		
			当初見込み	件	17	132	173	212	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	医療・ライフサイエンス分野の研究開発及びその環境の整備等、内容が多岐にわたるため、単位当たりコストを算出することは困難		単位当たりコスト	-	-	-	-	-	
			計算式	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 6年度
	再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクトにおいて企業へ導出される段階に至った研究課題数を5年間で10件(うち遺伝子治療2件)(うち企業へ導出された件数2件)とする	再生医療実現拠点ネットワークプログラムにおいてiPS細胞等幹細胞を用いた課題の臨床研究への移行(件)(累積)(~令和元年度)  企業へ導出される段階に至った研究課題数(件)(令和2年度からの累積)(令和2年度~)	成果実績	件	16	9	12	-	
			目標値	件	-	-	-	-	10
			達成度	%	-	-	-	-	-

<p>根拠として用いた統計・データ名 (出典)</p>	<p>令和元年度までは、「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」において設定されている再生医療に関する達成目標「2020年までの達成目標:臨床研究又は治験に移行する対象疾患の拡大 約35件」(※)に基づく。 令和2年度以降は、「医療分野研究開発推進計画(第2期)」(令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)において設定されている再生・細胞医療・遺伝子治療に関する達成目標「企業へ導出される段階に至った研究課題数10件(うち遺伝子治療2件)(うち企業へ導出された件数2件)」(※※)に基づく。 ※達成目標の年間35件については、3省(文部科学省、厚生労働省、経済産業省)の合計の目標値であり、そのうちの文部科学省分として「約15件」とした。 ※※新達成目標の年間10件についても、同じく上記3省の合計の目標値であるが、本件については各省連携の下に一貫した支援を行っており、省庁ごとに目標値を按分することができないことから、実績値・目標値とも3省の合計とする。</p>								
<p>活動内容 (アクティビティ)</p>	<p>医療分野の研究開発への応用を目指し、生命現象や疾患メカニズム解明等のための基礎的な研究開発を行う。中でも脳機能および感染症の研究開発に取り組み、成果を臨床研究開発や他の統合プロジェクトにおける研究開発に結び付けるとともに、臨床上の課題を取り込んだ研究開発を行うことにより、基礎から実用化まで一貫した循環型の研究を支える基盤を構築する。</p>								
<p>活動目標及び活動実績 (アウトプット)</p>	<p>活動目標</p>	<p>活動指標</p>	<p>単位</p>	<p>令和元年度</p>	<p>令和2年度</p>	<p>令和3年度</p>	<p>4年度 活動見込</p>	<p>5年度 活動見込</p>	
<p>脳とこころの研究推進プログラム及び新興・再興感染症研究基盤創生事業において、生命現象や疾患メカニズムの解明等を支援</p>		<p>科学誌に論文が掲載された研究成果の数</p> <p>※下段()内はインパクトファクター5以上の科学誌に論文が掲載された研究成果の数</p> <p>※右表年度の集計期間は、データベースからの算出のため、1月～12月となっている。</p> <p>※令和3年度活動実績は、集計中のため未記載。</p> <p>※科学誌に論文が掲載された研究成果の数(インパクトファクター5未満の科学誌を含む)については、「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)に基づく「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月)にて目標値が設定されていないため、当初見込みを設定しない。</p> <p>※インパクトファクター5以上の科学誌に論文が掲載された研究成果の数の当初見込みについては、上記計画のKPIに基づき、該当事業予算額に応じて按分し単年度ごとに算出する。このため、令和5年度分は未記載とする。</p>	<p>活動実績</p>	<p>件</p>	<p>-</p>	<p>611 (279)</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
		<p>当初見込み</p>	<p>件</p>	<p>-</p>	<p>(43)</p>	<p>(44)</p>	<p>(47)</p>	<p>-</p>	
<p>単位当たりコスト</p>	<p>算出根拠</p> <p>医療・ライフサイエンス分野の研究開発及びその環境の整備等、内容が多岐にわたるため、単位当たりコストを算出することは困難</p>	<p>単位当たりコスト</p>	<p>単位</p>	<p>令和元年度</p>	<p>令和2年度</p>	<p>令和3年度</p>	<p>4年度活動見込</p>		
		<p>計算式</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	<p>-</p>	

	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度							
								4年度	6年度							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	脳とこころの研究推進プログラムおよび新興・再興感染症研究基盤創生事業における他の統合プロジェクトへ企業等への導出を、当該事業の予算額に応じた件数行う  ※目標値は「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)に基づく「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月)における成果目標(KPI)を該当事業予算額に応じて按分し単年度ごとに算出	シーズの他の統合プロジェクトや企業等への導出件数	成果実績	件	-	1	2									
			目標値	件	-	1	1	1	-							
			達成度	%	-	100	200	-	-							
根拠として用いた統計・データ名(出典)	「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)に基づく「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月)における成果目標(KPI)(令和6年度までの累積値)を該当事業予算額に応じて按分し算出。															
活動内容(アクティビティ)	アカデミア等の優れた基礎研究の成果を臨床研究・実用化へ効率的に橋渡しができる体制を構築し、橋渡し研究支援拠点内外のシーズの積極的支援や産学連携の強化を通じて革新的な医薬品・医療機器等の創出に貢献。															
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度	5年度							
								活動見込	活動見込							
								橋渡し研究支援拠点でアカデミア等の優れたシーズを臨床研究・実用化へ効率的に支援	橋渡し研究支援拠点で支援しているシーズ数 ※令和5年度活動見込は、令和4年度活動実績に基づき設定するため未記載。	活動実績	件	1,327	1,427	1,326	-	-
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込								
	医療・ライフサイエンス分野の研究開発及びその環境の整備等、内容が多岐にわたるため、単位当たりコストを算出することは困難	単位当たりコスト		-	-	-	-	-								
		計算式		-	-	-	-	-								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度							
								-年度	6年度							
								令和6年頃までに34件/年の基礎研究課題を治験の段階に移行させる	令和元年度まで：橋渡し研究支援拠点の支援により基礎研究の成果が薬事法に基づく医師主導治験の段階に移行した数(件)	成果実績	件	24	26	37	-	-
									令和2年度以降：治験届出件数のうち医師主導治験の数(件)	目標値	件	17	34	34	-	34
根拠として用いた統計・データ名(出典)	「医療分野研究開発推進計画(第2期)」(令和2年3月27日閣議決定)におけるシーズ開発・研究基盤プロジェクトの目標数(KPI)に基づき設定。各年度ごとの目標値は、170件÷5年=34件/年とする。 ※達成目標および成果実績は、橋渡し研究支援拠点(文部科学省)と臨床研究中核病院(厚生労働省)で一貫した支援による成果であることを踏まえて、これら拠点の実績とする。															

活動内容 (アクティビティ)	ナショナルバイオリソースプロジェクトについては、大学、研究機関等を対象に実施機関(中核拠点)を公募により選定し、ライフサイエンス研究の基盤を支える実験用動物・植物・微生物等(バイオリソース)の収集・保存・提供を行うとともに、バイオリソースの付加価値向上を目指したゲノム情報等の解析や保存技術等の開発を行う。また、バイオリソースの所在情報等を提供する情報センター機能を強化する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	中核拠点や情報センターの整備	中核拠点や情報センターの整備件数	活動実績	件	27	28	28	-	-
			当初見込み	件	27	27	28	28	28
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	(年度執行額) / (中核拠点や情報センターの整備件数)	単位当たりコスト	百万円	49	47	44	41		
		計算式	百万円/件数	1,332/27	1,316/28	1,231/28	1,231/30		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	中核拠点が大学・研究機関等に提供した実験動物・植物等を用いて発表された論文数が前年度と同程度であること	中核拠点が大学・研究機関等に提供した実験動物・植物等を用いて発表された論文数	成果実績	件	945	1,021	-	-	-
			目標値	件	1,031	945	1,021	-	-
			達成度	%	92	108	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	NBRPリソースを使用して行われた研究の成果論文データベース(RRC: <a href="https://rrc.nbrp.jp/">https://rrc.nbrp.jp/</a> )より算出した。各年度の実績値については、行政事業レビューシート作成当時の集計値であって、集計後に提供先から発表された論文が報告されることがあるため、過去の値も含め増加する場合がある。また、令和3年度の実績値については集計中であり、令和5年4月～5月頃確定の見込みである。								

成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載  チェック

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応		
	施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応	政策評価書 URL	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_9-3.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_9-3.pdf</a>
			該当箇所	達成目標 1～7
	取組事項	分野:		
(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:				
該当箇所				

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	医療分野の研究開発の推進に向けて、法律に基づき設置される日本医療研究開発機構における事業を推進するために国費の投入は必要であり、優先度の高い、国民や社会のニーズを反映した事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	医療分野の研究開発の推進に向けて、日本医療研究開発機構において、基礎から実用化まで一貫した研究マネジメントのもと、知的財産の専門家による知的財産管理などの研究支援等も含め、切れ目ない研究支援を一体的に行う必要不可欠な事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	医療分野の研究開発の推進に向けて、日本医療研究開発機構において、基礎から実用化まで一貫した研究マネジメントのもと、知的財産の専門家による知的財産管理などの研究支援等も含め、切れ目ない研究支援を一体的に行う必要不可欠な事業であり、優先度の高い、国民や社会ニーズを反映した事業である。

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	調達に関しては、汎用的な備品や消耗品等の調達に当たって一括調達や単価契約を行い、効率化を図ることとしている。支出先の選定は、原則として一般競争入札を実施している。入札説明会に参加したが入札しなかった者等を対象に辞退理由のアンケート調査を行い、結果を購入依頼部室にフィードバックすることにより、調達の改善を行っている。また、20百万円を超える随意契約を締結する案件については、機構内に設置された契約審査委員会にて報告し、会計規程との整合性や、より競争性のある調達手続の実施の可否の観点から点検を受けることになっている他、監事及び外部有識者によって構成する契約監視委員会において事後点検を行い、その審議概要を公表するなど専門的かつ厳格な制度運用を行っており妥当である。		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有			
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	公募の実施による実施主体の選定に加え、各省の枠を超えて、領域ごとに置かれるプログラムディレクター(PD)、プログラムオフィサー(PO)を活用した、基礎から実用化までの一貫した研究管理を実施し、真に必要な支出に限定することとしている。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	公募の実施による実施主体の選定に加え、各省の枠を超えて、領域ごとに置かれるプログラムディレクター(PD)、プログラムオフィサー(PO)を活用した、基礎から実用化までの一貫した研究管理を実施し、真に必要な支出に限定することとしている。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	公募の実施による実施主体の選定に加え、各省の枠を超えて、領域ごとに置かれるプログラムディレクター(PD)、プログラムオフィサー(PO)を活用した、基礎から実用化までの一貫した研究管理を実施し、真に必要な支出に限定することとしている。		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-			
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	研究方式の決定に時間を要し、計画の条件、資材の入手難といった理由から繰越をしている。繰越の事由については、繰越明許費として国会に承認を得ている。			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	公募の実施による実施主体の選定に加え、実施主体からの支出については、競争性を確保するため、競争入札等により、競争性・透明性を確保しつつ、合理的な支出を行うこととしている。			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	健康・医療戦略等に掲げる施策を推進するにあたり、施策ごとに達成すべき成果目標を定めており、状況に応じて、更なる検討・検証等を行い、必要に応じて見直しを行うこととしている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	医療分野の研究開発の推進にあたっては、法律に基づき、日本医療研究開発機構において実施することとなり、政府の全体方針に基づく効果的・有効な事業を推進することとしている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	各項目とも、実績は、目標・見込み値を概ね達成している又は達成に近い範囲にあり、目標・見込みに見合ったものである。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	日本医療研究開発機構に、医薬品、医療機器等及び医療技術に係る医療分野の研究開発業務に関し、国が戦略的に行う研究費等の配分機能等を集約し、一体的な資金配分を行うとともに、各省それぞれが実施してきた医療分野の研究開発について、プログラムディレクター(PD)の目利き機能を生かした基礎から実用化まで一貫した研究マネジメントのもと、知的財産の専門家による知的財産管理などの研究支援等も含め、基礎から実用化まで切れ目ない研究支援を一体的に行うこととしている。		
	事業番号			事業名	
	内閣府	21		0137	科学技術イノベーション創造推進費(健康・医療分野)
	文部科学省	21		0272	国立研究開発法人日本医療研究開発機構運営費交付金に必要な経費
点検・改善結果	点検結果	本事業は個々の設定しているアウトカムにおいて目標を達成しており、医療分野の研究開発の推進に寄与していると考えられる。なお、汎用的な備品や消耗品等の調達に当たって一括調達や単価契約を行い、効率化を図ることとしている。			
	改善の方向性	引き続き政府の全体方針に基づき効果的・有効な事業を推進し、一括調達や単価契約に取り組むとともに、国立研究開発法人間で調達実績等の情報を共有し、引き続き効率的な調達に努める。			



外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

部 容 事  
改 の 業  
善 一 内

この事業は、平成27年度から実施している長期継続事業であり、個々のアウトカムについて概ね目標を達成しているものと見受けられる。関係省庁間の連携の継続的な評価、関係人材の育成・確保・処遇、事業を適切に把握できるロードマップについては、引き続き検討をしていく必要がある。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

を に 年  
検 改 度  
討 善 内

所見を踏まえ、関係省庁間の連携を継続的に評価できる指標を検討するとともに、関係人材の育成・確保・処遇、事業を適切に把握できるロードマップについて引き続き検討をしていく。

備考

■令和元年度公開プロセスでの指摘

0243 医療分野の研究開発の推進

<結果>

事業内容の一部改善

<とりまとめコメント>

・各省庁間で個々に行っていたプロジェクトを一つにまとめて執行する組織が出来て、これが機能していることが確認できたことは大きな成果である。今後とも連携がうまく進んでいるかどうか評価をしていくべきである。

・プロジェクトマネジメントは重要な役割を担うため、このような人材の育成・確保にも努めるべきである。また、ある一定の単位で入れ替わる任期付きスタッフの処遇についても、今後検討が必要である。

・個々の事業の進捗が把握できるようなロードマップの検討が必要である。

<対応状況>

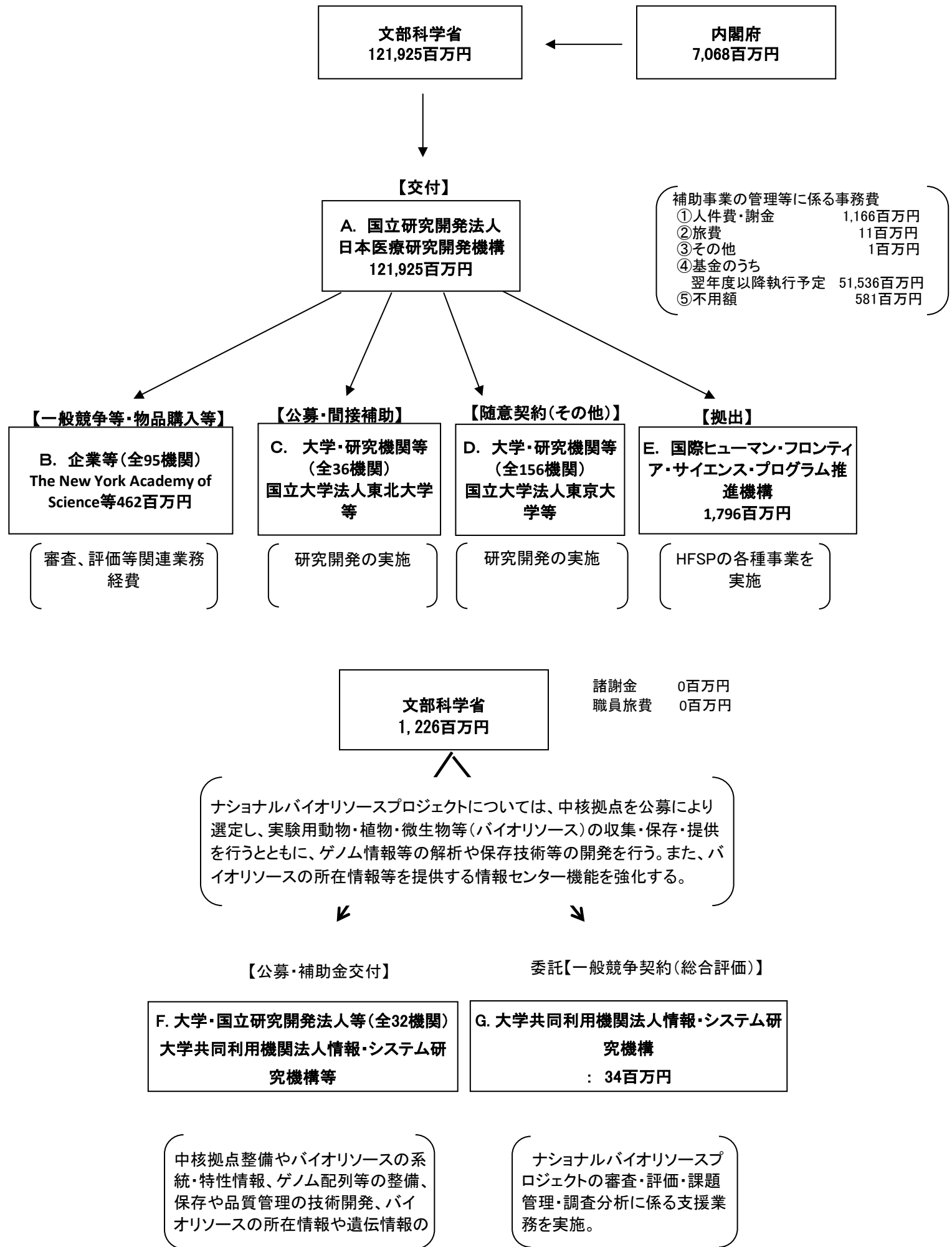
・これまで、様々な疾患に展開可能なモダリティ(技術・手法)等の開発が疾患別のプロジェクトにより特定の疾患に分断されていたことなどから、第2期健康・医療戦略においてモダリティ等の6つの領域ごとにプロジェクトを再編し、疾患横断的に研究開発を推進する。

・研究を着実に推進するため、AMEDにおいてプロジェクトごとにプログラムディレクター(PD)を置き、各省の事業を連携させ一元的に管理する。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	26-214、26-215、26-216	26-224	26-229	26-230
平成27年度	新27-0025			
平成28年度	244			
平成29年度	252			
平成30年度	249			
令和元年度	文部科学省 - 0243			
令和2年度	文部科学省 0244			
令和3年度	2021 文科 20 0267			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.国立研究開発法人日本医療研究開発機構			B. The New York Academy of Science		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
補助金	医療分野の研究開発	121,925	役務費	2021年度Interstellar Initiative開催委託、他	93.3
計		121,925	計		93.3

C.国立大学法人 東北大学			D.国立大学法人 東京大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	印刷費、外注費等	2,903.7	物品費	備品、消耗品等の購入費用	2,662.3
物品費等	備品、消耗費等の購入費用	1,804.4	間接費	研究遂行に関連して必要な経費	1,473.6
人件費・謝金	人件費、謝金	1,760	その他	印刷費、外注費等	1,228
旅費	旅費	18.3	人件費・謝金	人件費、謝金	972.8
間接費	研究遂行に関連して必要な経費	7.3	旅費	旅費	48.7
計		6,493.7	計		6,385.4
E.国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構			F. 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	HFSPの各種事業を実施するための経費	1,796	人件費・謝金	研究者及び研究補助者の人件費・謝金等	109
			その他	外注費(データベース維持管理等)等	85
			物品費	備品、消耗品等の購入費用	35
			管理経費	事業の管理業務に必要な経費	24
			旅費	国内旅費	10
計		1,796	計		263
G.大学共同利用機関法人情報・システム研究機構			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当職員、補助者の人件費	22			
業務実施費	消耗品購入費用、会議開催経費等	10			
一般管理費	業務遂行のために必要な経費	2			
設備備品費	設備備品の購入費用	0			
計		34	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

### 支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応券又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人 日本医療研究開発 機構	9010005023796	医療分野の研究開発	121,925	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者必札・一者必券又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	The New York Academy of Science	-	2021年度 Interstellar Initiative 開催委託、他	93	随意契約 (その他)	-	-	
2	有限責任監査法人トーマツ	5010405001703	令和3年度 拠点支援 シーズデータベース (BRIDGE)の運用保守・分析、他	59	随意契約 (公募)	-	-	
3	株式会社マックスパート	8010001069555	会場借上	34	随意契約 (その他)	-	-	
4	株式会社日本総合研究所	4010701026082	AMED医療機器シーズアキュセラレーション支援業務	27	一般競争契約 (総合評価)	2	96.2%	-
5	ネイチャー・ジャパン株式会社	7011101016919	2021年度AMEDレビュー候補者提案査読等依頼/候補者プール構築及び企業評価委員候補者プール構築のための支援業務	22	随意契約 (公募)	-	-	
6	特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター	2013405000693	2021年度アフリカ合同シンポジウム運営・支援業務、他	21	一般競争契約 (最低価格)	1	86.8%	-
7	日鉄日立システムエンジニアリング株式会社	3010001025546	令和3年度 AMEDオンライン課題評価システム 運用保守、他	21	随意契約 (公募)	-	-	
8	株式会社TSP	1011001014417	令和3年度 AMED研究開発課題管理支援ツール基盤運用保守	20	随意契約 (その他)	-	-	
9	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	1010001143390	令和3年度 AMED研究成果として得られたデータの利活用に関する調査	20	一般競争契約 (総合評価)	1	86.8%	-
10	株式会社英知	2010801028286	労働者派遣	16	一般競争契約 (最低価格)	1	95.3%	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者必札・一者必券又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東北大学	7370005002147	東北メディカル・メガバンク計画他、全7件	6,494	補助金等交付	-	-	
2	国立大学法人東京大学	5010005007398	実践創薬ナレッジとイノベーションで拓くリード創出他、全10件	3,483	補助金等交付	-	-	
3	国立大学法人長崎大学	3310005001777	国際的に脅威となる一類感染症の研究に必要な高度安全実験施設(BSL-4)他、全3件	2,314	補助金等交付	-	-	
4	国立大学法人大阪大学	4120905002554	クライオ電子顕微鏡法による生体分子構造解析の高分解能化と効率化を目指した研究他、全8件	1,809	補助金等交付	-	-	
5	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構	4050005005267	創薬等ライフサイエンス研究のための相関構造解析プラットフォームによる支援と高度化他、全2件	1,273	補助金等交付	-	-	
6	国立大学法人九州大学	3290005003743	グリーンファルマを基盤にした創薬オープンイノベーションの推進他、全3件	1,054	補助金等交付	-	-	
7	国立研究開発法人理化学研究所	1030005007111	生体試料を用いた大規模機能ゲノミクス解析による創薬等支援及び技術基盤の整備他、全	916	補助金等交付	-	-	
8	国立大学法人北海道大学	6430005004014	生体試料を用いた大規模機能ゲノミクス解析による創薬等支援及び技術基盤の整備他、全4件	521	補助金等交付	-	-	
9	学校法人岩手医科大学	4400005000752	東北メディカル・メガバンク計画1件	378	補助金等交付	-	-	
10	国立大学法人京都大学	3130005005532	アカデミア発先端医療技術の早期実用化に向けた実践と連携他、全7件	285	補助金等交付	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者心札・一者心券又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東京大学	5010005007398	メチニコフ創薬:AIMIによる食細胞機構の医療応用実現化他、全133件	6,385	随意契約(その他)	-	-	
2	国立大学法人京都大学	3130005005532	再生医療用iPS細胞ストック開発拠点他、全99件	5,293	随意契約(その他)	-	-	
3	国立大学法人東北大学	7370005002147	AMEDが行うゲノム医療研究支援サービスを支える研究開発基盤の整備他、全41件	4,819	随意契約(その他)	-	-	
4	国立大学法人大阪大学	4120905002554	老化機構・制御研究拠点他、76件	3,782	随意契約(その他)	-	-	
5	国立研究開発法人理化学研究所	1030005007111	革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明他、40件	3,252	随意契約(その他)	-	-	
6	学校法人慶應義塾	4010405001654	「iPS細胞由来神経前駆細胞を用いた脊髄損傷・脳梗塞の再生医療」他、全38件	1,463	随意契約(その他)	-	-	
7	公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団	2130005015689	再生医療用iPS細胞ストック開発拠点1件	1,430	随意契約(その他)	-	-	
8	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学	3180005006071	化学を基盤としたmRNAの分子設計・製造法の革新とワクチンへの展開他、全41件	1,228	随意契約(その他)	-	-	
9	国立大学法人東京医科歯科大学	6010005007397	培養腸上皮幹細胞を用いた炎症性腸疾患に対する粘膜再生治療の開発拠点他、全34件	1,070	随意契約(その他)	-	-	
10	国立大学法人九州大学	3290005003743	ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心不全治療の実用化他、全31件	976	随意契約(その他)	-	-	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者心札・一者心券又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構	-	「ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム」に参加するための拠出金1件	1,796	その他	-	-	



成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標		目標最終年度	
							年度	6	年度	年度
革新的医療機器の実用 化に資する成果の件数 (累積)を5年間で15件と する	シーズの他事業や企業等 への導出件数	成果実績	件	-	6	1	-	-	-	-
		目標値	件	-	-	-	-	-	15	-
		達成度	%	-	-	-	-	-	-	-
根拠として用い た 統計・データ名 (出典)	文部科学省調べ									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標		目標最終年度	
							年度	4	年度	年度
ゲノム医療実現バイオバ ンク活用プログラム(B- cure)において、新たな疾 患関連遺伝子候補及び 薬剤関連遺伝子候補数を 5年間で400件とする	発見された疾患関連遺伝 子候補及び薬剤関連遺 伝子候補数(累積)	成果実績	件	311	683	6,169	-	-	-	-
		目標値	件	-	-	-	-	-	400	-
		達成度	%	-	-	-	-	-	-	-
根拠として用い た 統計・データ名 (出典)	ゲノム医療の実現に向けた基礎研究の成果として、ゲノム医療実現バイオバンク活用プログラム(B-cureの実績を記載。 平成30年度-令和4年度までの5年間で、オーダーメイド医療の実現プログラムの実績(平成25-29年度の5年間で370)を上回ることを目 標として設定する。									

科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会  
ライフサイエンス委員会（第11期）委員名簿

（敬称略、50音順）

有田 正規	国立遺伝学研究所教授
岡田 随象	大阪大学大学院医学系研究科遺伝統計学教授
加藤 忠史	順天堂大学精神医学教授
金倉 謙	一般財団法人住友病院院長
金田 安史	大阪大学理事・副学長
鎌谷 洋一郎	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
上村 みどり	情報計算化学生物学会 CBI 研究機構 量子構造生命科学研究所所長
木下 賢吾	東北大学大学院情報科学研究科教授、 東北大学東北メディカル・メガバンク機構副機構長
熊ノ郷 淳	大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学教授
倉根 一郎	国立感染症研究所名誉所員
古関 明彦	理化学研究所生命医科学研究センター副センター長
後藤 由季子	東京大学大学院薬学系研究科教授
鹿野 真弓	東京理科大学薬学部薬学科教授
鈴木 蘭美	モデルナジャパン株式会社代表取締役社長
武部 貴則	東京医科歯科大学医学部統合研究機構教授
谷岡 寛子	一般社団法人日本医療機器産業連合会臨床評価委員会委員長、 京セラ株式会社メディカル事業部薬事臨床開発部責任者
辻 篤子	中部大学特任教授
豊島 陽子	東京大学大学院総合文化研究科特任研究員
中釜 斉	国立がん研究センター理事長
中村 幸夫	理化学研究所バイオリソース研究センター細胞材料開発室室長
○ 西田 栄介	理化学研究所生命機能科学研究センターセンター長
畠 賢一郎	株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング代表取締役
◎ 宮園 浩平	国立研究開発法人理化学研究所理事、 東京大学大学院医学系研究科卓越教授
宮田 敏男	東北大学大学院医学系研究科教授
山本 晴子	医薬品医療機器総合機構医務管理監理事長特任補佐

◎：主査      ○：主査代理

令和5年1月現在